

慶應大学 SFC 玉村研究会 @宮古島 2013 夏
「ソーシャルマーケティングと価値創造 実践研究」



9月9日から15日にかけて私たち慶應大学SFC玉村研究会は、みやこ福祉会の方々に少しでも貢献できるように調査・提案活動に取り組みさせて頂きました。私自身は今年で2回目の活動となりました。

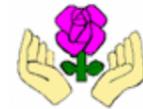
私のいたナカポツチームは「どうすれば、宮古島全域にナカポツ（障害者就業・生活支援センター）の存在や役割・特性を知ってもらえるか？」というテーマを頂き、ユニバーサルスポーツ大会と『んみゃーち、ナカポツ』の発行をご提案させて頂きました。ユニバーサルスポーツとは、障がい者の方と健常者の方が一緒に楽しむことができるスポーツです。スポーツを通じて、健常者の方に障がい者の方を身近に感じてもらう機会を作り、宮古島が障がい者の方に暖かい島になるようにという思いを込めてご提案し、実際に大会を開催させて頂きました。『んみゃーち、ナカポツ』は、就労している障がい者の方と就労先の企業のことを取材した広報紙になります。障がい者の方の働く様子、受け入れ企業の想い・工夫・苦勞を広く知って頂くことで、ナカポツのPRや障がい者雇用の普及の一助となればと思ひ、作成・ご提案させて頂きました。

活動の中で、困難を抱えながらも一生懸命働いている障がい者の方のお話や、スポーツ大会で障がい者の方と健常者の方が一緒に楽しんでいる様子に私たち自身が感動し、エネルギーを頂き、人と人が支え合いながら生きていくことについて深く考え直すことができました。神里さんをはじめとするみやこ福祉会の皆様、取材させて頂いた方々やスポーツ大会に参加して下さった方々に深く御礼申し上げたいと思います。ありがとうございました！

富田恭平（慶應義塾大学環境情報学部4年）

9月10日（火）彼らはやってきました。毎年恒例「玉村研究会」の御一行。今年私たちは「ナカポツ（障害者就業・生活支援センター）」の活動をテーマに1グループが様々な取り組みをしていただきました。街頭アンケートによるナカポツや障害者就業支援の認知度調査。『んみゃーち、ナカポツ』制作。ユニバーサルスポーツ大会の開催。どれも当センターの周知を目的としたもので、についてはイベント開催により子ども、親、障がい者地域の方が皆でチームを作り、障がい者の方との接し方がごく普通であることを知っていただき、最後にナカポツの役割の周知をさせていただくというような、遊びながら障がい者支援について周知を図るといふ学生の元気さを活かした取り組みがあり、「参加者もとても楽しくまた企画してくれ」「どどんやろうよ」といふような声も挙がっていました。～ までたった正味3日間という短期間で成し得たエネルギーに感動しましたし、今後我々が実践として企画していけることを提案していただきました。

玉村先生、学生の皆様本当にありがとうございました。 障害者就業・生活支援センターみやこ所長：神里裕文



学園だより

メールアドレス
miya-gaku@cronos.ocn.ne.jp

平成 25 年

第 146 号

11 月 発行

みやこ学園

社会福祉法人 みやこ福祉会



10月12日（土）第12回みやこ福祉会大運動会が晴天の中、鏡原中学校で盛大に行われました。今回初めて入場行進の前に鳩が飛ばされ威勢良く飛立つ鳩を見て会場全体が「ワーッ」という大歓声が上がり、一気に運動会ムードは絶頂へ。その後、みやこ福祉会旗を先頭に各班が元気よく入場し、自治会長砂川保さんの挨拶で開会式が始まり理事長挨拶、下地敏彦宮古島市長（代読障がい福祉課長）の激励の挨拶が行われ、「ちゃーがんじゅー体操」という一風変わった体操で体をほぐしエビカニエクス音楽に合わせダンスを楽しんだあと競技開始となりました。玉入れではかごの中にある風船を割る「風船割り玉入れ」が行なわれいつもと違った玉入れを競技者の皆さんも大いに楽しんでいました。職場対抗障害物リレー施設対抗障害物リレーでは上手に障害物を超えて行く方もいればなかなか出来ず会場の笑いを誘う方もいて楽しい競技となりました。昼食では例年親の会手作りのソーキ汁、おにぎりが来場者全員に振舞われ参加者のお腹を満足させてくれました。又、今年は昼食時間を利用し、みやこ福祉会職員による「がちりレー」チーム独自で仮装の走者、自転車で走る者、様々に工夫を凝らしバトンが繋がれ会場からは声援と笑いが飛び交っていました。午後からは、琉舞隊の華やかな「ましゅんく節」を皮切りに親の会のリズムカルなダンスやエイサー隊による「ミルクムナリ」が披露されました。「なにができるかな？」は会場の皆さんの出番です。チーム毎に協力し、パズルのパーツで一つの絵を完成させるという競技に楽しみながら取り組む姿あり。そして最後の見所は何といっても全員がバトンを繋ぐ「学園リレー」一人一人が自分のペースで走り抜き会場の大声援を受け大いにハッスルする姿がとても印象的でした。フィナーレの綱引きは東西仲良く引き分けに終わり会場全体でクイチャーを踊り閉会となりました。関係機関・地域・家族の皆さんのご協力があり今年も怪我なく無事に終わることが出来ました。有難うございます。心より感謝申し上げます。 工賃達成指導員：謝敷豊彦

11月の行事予定



1	金	
2	土	
3	日	文化の日
4	月	休園(代休)
5	火	
6	水	職務会議
7	木	
8	金	工賃支給日
9	土	
10	日	
11	月	
12	火	
13	水	職務会議
14	木	
15	金	
16	土	
17	日	
18	月	
19	火	指導監査
20	水	職務会議・施設内健康診断
21	木	
22	金	
23	土	
24	日	
25	月	
26	火	
27	水	自治会行事・職務会議
28	木	
29	金	
30	土	産業まつり

～ 講演会 ～

障害のある人も・ない人も 共に暮らす地域づくり

那覇市にあるNPO法人エスペーロ（理事長平良節子）主催の「障害のある人もない人も共に暮らす地域づくり」と題して障害のある人の就労支援事業に積極的に取り組んでいる社会福祉法人一麦会（和歌山県）の田中秀樹理事長他4名を招き10月20日（日）みやこ学園にて講演会が開催されました。

一麦会は「ほっとけやん」の理念の基、昭和52年3月に6畳一間の長屋からのスタート「何もない。見通しもない。それこそゼロからの出発であった。同会は、和歌山県で初のパン屋さん開設や障害児通園施設（無認可）こじか園、知的障害者授産施設（くろしお作業所）、日本で初めての精神障害者の福祉工場（ソーシャルファーム）などつぎつぎと発展的に施設を立ち上げ現在もとどまることなく事業展開されていて、法人の理念もすばらしく、障害の種別にもこだわらず福祉制度の対象外、制度の谷間に埋もれている人たちにも目をむけ、独自の建物（プレハブ）設け、資金はななくとも知恵を絞り地域から持ち込まれる福祉ニーズに対応する仕組みを作りあげているとの事。講演では、一麦会の事務局長の野中康寛さんが、「障害のある人が誇りを持てるような仕事を作り出すことと、軽い障害のある人が、重い障害のある人を支えるという相互支援の仕組みづくりを念頭に事業を進めている。」などを分かりやすく話していただきました。

このほか、森橋美穂さん、山本真与さんら二人からは、不登校児、ひきこもり青年者の支援など、障害の早期の発見や対応が発病を抑えたり、発病しても軽く抑えることができるのではないかなど、子供から高齢者まですべての困っている人たちへの支援対策もしていることも講和していただき講演を終えました。講演会を主催してくださったNPO法人エスペーロの平良さん、一麦会の田中理事長、野中さん、森橋さん、山本さん本当に勉強になりました。有難うございます。

支援課長：友利 聡



「講演中の一麦会田中理事長」



「講演会ご来場者の方々」

11月生



砂川輝明さん

砂川輝明さん（42歳）

お誕生日おめでとうございます。毎日、園芸班での作業お疲れ様です。最近では二輪車の運転が上手になり作業領域も増えていて、とても助かっています。誕生日を迎えてからも更なる可能性を見つけ作業や行事に大活躍することを願っています。

就業支援員：知念 聡



下地美奈子さん

上村裕美さん（34歳）

Happy Birth day 裕美さん。今年は自転車で通勤を始めたり周りに優しい声かけができたりとても落ち着いて色々な事が出来るようになりましたね。これからは裕美さんらしく頑張っていきましょうね。応援しています。

生活支援員：天久加苗

下地美奈子さん（23歳）

Happy Birth day 美奈子さん。ハウスでは色々な作業に取り組んでくれています。体調管理をきちんと行い就職できるように前進して行きましょね。

生活支援員：天久加苗



伊志嶺 基さん

與那覇直樹さん（32歳）

直樹さんお誕生日おめでとうございます。謝敷班をいつも引っ張ってくれる直樹さん。最近では我慢強くもなりましたね。また、作業だけではなくエイサーや他面で自ら取り組みほかのメンバーとも協力しながら取り組めるようになってきています。これからは体にも気をつけて頑張っていましょね。

工賃達成指導員：謝敷豊彦

伊志嶺 基さん（61歳）

基さん、61回目のパースディーおめでとう！作業では一輪車を使用して土を運んだり、ポット作りをしたり毎日作業を頑張っている基さんです。これから寒い季節になってきますね。お互いに風邪ひかないように頑張っていましょね！！

職業指導員：小禄和則



浜川悦子さん

松原幸代さん（32歳）

Happy Birth day 幸代さん。ハウスでのお仕事いつもお疲れ様です。いろいろ新しいことにも挑戦しています。話を聞いて一生懸命に取り組んでくれています。

生活支援員：天久加苗



上地清美さん



浜川悦子さん（61歳）

≧ HAPPY BIRTH DAY ≧ 2ヶ月前まで左手首を骨折していましたが、驚異の回復力でスピード復活！まだまだ若いですね。～ 室内班の作業でも頼れる悦子姉さん。これからは体に気を付けながらお仕事頑張っていましょね。(おめでト(^ ^)ゴザイマス。

職業指導員：上野静華

友利和広さん（53歳）

お誕生日おめでとうございます。学園での作業はもちろんのこと、自宅での畑作業にも頑張っている和広さんに感心しています。私より年上にも関わらず運動能力がすごく最近の運動会での活躍に驚いています。誕生日を迎えても今以上に若々しくスポーツや作業に意欲的に取り組んでくれる事を願っています。

就業支援員：知念 聡

上地清美さん（54歳）

ほうれん草の下葉取り作業で毎日立ちっぱなしの中、いつも元気な清美姉さん。すごく体力があります。ただ、前回の人間ドックで体脂肪が気になる場所・・・一緒に健康増進しようではありませんか！お誕生日おめでとうございます。

生活支援員：黒澤由香



上村裕美さん



與那覇直樹さん



松原幸代さん



友利和広さん

